和歌山県　資料提供
令和７年３月３１日

知らないオドロキが色々色々
聖地リゾート!!!!! Seichi Resort WAKAYAMA
和歌山

農林水産業競争力アップ技術開発事業

令和７年度新規研究テーマを決定しました

農林水産業競争力アップ技術開発では、生産者の所得向上や地域活性化につながる新品種、新技術の開発を加速化するため、平成２４年から生産団体をはじめ、広く県民の皆様から研究テーマを募集し、学識経験者等の評価をいただいた課題について研究開発を実施しています。

この度、農林水産関係の試験研究機関が令和７年度から新たに取り組む研究テーマを下記のとおり決定しましたのでお知らせします。

◆実施期間：令和７～９年度

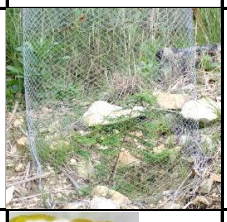
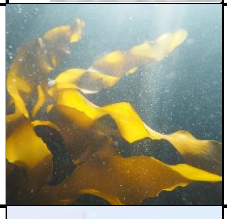
◆研究テーマ数：１０件

◆研究テーマ予算：１７，０５５千円

※研究テーマの詳細は別紙をご確認ください。

（連絡先）
農林水産部農林水産政策局
研究推進課　企画班
担当：内田、大江
電話：073-441-2997
内線：2997

別紙

実施試験研究機関名 / 研究テーマ		研究のポイント
農業試験場　TEL：0736-64-2300 夏季高温に対応したイチゴ‘まりひめ’の花芽分化遅延防止技術の確立		育苗期と定植直後のステージに応じた低コストな高温対策技術と適正な栄養管理手法を確立する。 ・温度条件、株の栄養状態と花芽分化の関係解明 ・低コストな高温対策技術の確立 ・高温条件下における栄養管理方法の確立
果樹試験場　TEL：0737-52-4320 ウンシュウミカン‘あおさん’の出荷期間延長技術および品種識別マーカーの開発		3月以降の流通を可能とするための適切な収穫時期や貯蔵方法を確立するほか、他のウンシュウミカンと識別できる方法（品種識別マーカー）を開発する。 ・出荷期間延長技術の開発 ・品種識別マーカーの開発
かき･もも研究所　TEL：0736-73-2274 カキ‘紀州てまり’の外観品質向上技術の確立		県オリジナル品種‘紀州てまり’の外観品質の低下を招く日焼け及びカキ炭色かび病の発生を抑制する技術を開発する。 ・日焼け対策技術の確立 ・カキ炭色かび病防除技術の確立
モモの省力栽培のための新しい低樹高樹形の開発		誰でも簡単に低樹高樹形による栽培ができるような技術を確立する。 ・新低樹高樹形栽培技術の開発
うめ研究所　TEL：0739-74-3780 地域別気象データを搭載したウメ生育予測技術の開発		収穫量の安定のために、園地単位で開花時期、不完全花発生の危険度および収穫期の予測ができる技術を開発する。 ・地域別ウメ開花予測技術の開発 ・‘南高’不完全花発生危険度予測法の開発 ・ウメ収穫期予測技術の開発
林業試験場　TEL：0739-47-2468 建築資材メタルラスを用いた獣害防除技術の開発		メタルラスを用いた低コストかつ環境負荷の少ない植栽苗木の獣害防除技術を開発する。 ・メタルラスの形状等による防除効果試験 ・メタルラスの設置方法、管理方法の検討
和歌山県産無花粉スギ次世代優良品種の創出		和歌山県由来の優良無花粉スギの品種登録と次世代花粉症対策品種の創出を行う。 ・無花粉スギ品種登録のための調査及び選抜 ・花粉親の選抜、次世代の創出と遺伝子分析
水産試験場　TEL：0735-62-0940 コンブ科藻場造成技術の開発		高水温下でも群落が維持されているカジメの維持要因を明らかにする。 ・維持カジメの高水温耐性の検証 ・維持海域の特異性（物理環境、植食性魚類）の検証
表層型浮魚礁におけるカツオ漁獲量予測システムの開発		浮魚礁に集まるカツオの推定漁獲量とサイズ情報を漁業者に提供するシステムを開発する。 ・浮魚礁におけるカツオ来遊実態の把握 ・カツオ漁獲量予測式の作成と漁獲量予測システムの開発
和歌山県河川におけるアマゴの発眼卵放流による増殖効果の解明		和歌山県の河川におけるアマゴ発眼卵放流の増殖効果を解明する。 ・河川の上流域で標識再捕法による調査を実施 ・放流魚の生存率と種苗単価から費用対効果を算出